

【今回の研修内容を今後の町政、議会活動にどのように活かしていくか】

○レジメ等、再度見直し研鑽して、わが町財政を再度見直し、議案議決に反映したい。(吉田憲市)

○予算、決算委員会における、ものの考え方が以前とは少し違った方向から見られると思います。住民にもうまく説明できるようになりたいです。(久保谷実)

○コロナ禍の中で、国の財政も逼迫しております。自立した町を目指すためには独自の施策が必要です。そのために官民が一体となり進める地域づくりと、多様性を取り入れた共生社会を築くことが必要です。それぞれ自分には何ができるか、オンラインも含めて一人でも多くの人の声を吸い上げ誰も取り残さないまちづくりを進めていきたいと思います。(紙井和美)

○財政が一番大事、今後より一層財政をチェックしていきたい。(柴原成一)

○町の課題を把握し、健全な財政運営を目指していく。(財政健全化計画をチェックする。) コロナ禍で冷え込んだ住民生活や経済に寄り添い、貧困にあえぐ住民に手厚い支援をしていく。(難波千香子)

○地方自治体としては国に頼るだけでなく、自分たちでよく考えて財政運営をしていかなければならない。(久保谷充)

○学習したことを議会で議論を深めて持続可能な阿見町の財政運営を議会が先頭になり推進していけるようにしたいと思います。決算カードを基に町の財政分析を行い、財務諸表の見方を学習し将来にわたる人口問題や、公共施設の維持管理、社会保障を含む福祉政策をどのように進めるのか、教育にかかる財源をどうするのか等々すべては、財政にかかっています。新年度の予算審議がより充実した議論ができるように、今回の研修を生かしていきたいと思います。(川畑秀慈)

○事業の見直し、延期、中止による一般財源の確保が必要だと思いました。(平岡博)

○町の財政の現状や、予算審議、各種計画などの審議点検に参考にしたいと思いました。(海野隆)

○3月は予算の議会なので、改めて阿見町の予算表をじっくり見てみたい。(永井義一)

○特別委員会の予算及び、決算書の見方を変えて、事業ごとにこれは必要か不必要かをそれぞれ考えて、町政に声を上げていきたいと思う。できれば中身を精査していく事が大事で少しでも町民の為になる事業を増やすことを考えていきたい。(野口雅弘)

○①予算を審議し賛否を表明し、②その執行状況を監視チェックし、③住民の要求を聞き集約化し政策を作り、④執行部に提案をしていく。この4つが議員の仕事と心得ます。(飯野良治)

○町民の幸福のための事業に資する予算の編成権や執行権は、執行機関に与えられた権限です。議会には議決権や調査権、検閲検査権などが与えられ、執行機関に対するチェック機能や権限が与えられています。地方自治の本旨は、住民自治と団体自治です。住民に関わることは住民自らが決めていく。国の建議や県の政策を見極め地方自治体への影響を探りながら、住民自らが決めていくための情報を議員活動や

議会活動を通して提供していきます。(栗原宜行)

○本研修で得たポイントや視点を、今後の議員活動に活かしたい。(樋口達哉)

○これからの、予算審議に生かせると思う。今まではただ数字だけを追いかけていたが、数字だけではなくもう少し広い視野で見ていきたいと思う。(高野好央)

○国の動向や、類似団体の動向などを注視しながら、当町の動向をしっかりチェックしていきたい。また、財政についても知識を深めていきたいと思う。(石引大介)

○今回の研修で学んだことと、町の財政でリンクしているところがあるのか、そして、オンラインでの講義を踏まえて、町でもできる限りオンラインで委員会などができるようにしていきたいと感じました。
(栗田敏昌)